

平成14年度

予算を問う

総括質疑

予算特別委員会

- | | | | | |
|---|---|--|--|--|
| <p>しの 国昭(自民)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中野区の基本姿勢について 2 行政の透明性について 3 その他 <p>岩永 しほ子(共産)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 区長の政治姿勢と区政のあり方について 2 新年度予算案について 3 山手通り問題について 4 その他 <p>齊藤 高輝(公明)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ペイオフ対策について 2 行財政5か年計画について 3 中野福祉作業所について 4 防災対策について 5 教育問題について 6 PCB(ポリ塩化ビフェニール)の処理問題について 7 保健福祉問題について | <p>8 その他</p> <p>平島 好人(自治)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 電子化・情報化とその将来のあり方について 2 危機管理に対する考え方について 3 脱法ドラッグの現状について 4 パブリック・コメント制度の活用について 5 その他 <p>藤本 やすたみ(民主)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 区長に対するアンケートについて 2 放置自転車対策について 3 土地開発公社の健全化計画と土地取得のあり方について 4 行財政5か年計画に取り組み区長の姿勢について <p>若林 ふくぞう(自民)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 民間団体による子育て支援について | <ol style="list-style-type: none"> 2 主任児童委員について 3 区における子ども虐待について 4 新学習指導要領(学校週5日制)について 5 学校評議員について 6 学校給食材料の仕入れについて 7 学校給食材料の牛肉使用について 8 区内小売業の育成について 9 高齢者の入浴事故について 10 カラス対策について 11 路上生活者について 12 行財政5か年計画の区長の姿勢について 13 その他 <p>長沢 和彦(共産)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 電子区役所について 2 介護保険と保健福祉サービスについて 3 療育センターアポロ園について | <ol style="list-style-type: none"> 4 非核平和行政について 5 その他 <p>佐伯 利昭(自治)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 区長の政治姿勢について 2 施政方針説明について 3 警察大学校等跡地問題について 4 平和の森公園の利用について 5 その他 <p>きたこう 秀文(自民)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防災体制について 2 高齢者の生活支援について 3 保育サービスについて 4 ゴミ収集について 5 その他 <p>吉原 宏(自民)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鍋横地域有地(本町四丁目、旧国鉄清算事業団跡地)について | <ol style="list-style-type: none"> 3 その他 <p>山崎 芳夫(自民)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 デフレ経済と区政運営について 2 憲法擁護・非核都市宣言について 3 土地開発公社と区執行機関の関係について 4 その他 <p>むとう 有子(無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緊急地域雇用創出事業の事業執行について 2 猫との共生にむけての対応策について 3 消費者センター・環境リサイクルプラザの事業充実について 4 障害者福祉施策の充実について 5 その他 |
|---|---|--|--|--|

行財政

上鷲宮五丁目用地取得

しの議員 公社が平成3年上鷲宮五丁目21億円で用地取得したのは、中野四丁目東地区整備の推進との関連があったのではないかと、この声がある。地域に対して十分な説明が必要ではないか。

答 当該用地は、平成4年に策定した第一次長期計画で、冒険遊び場整備として計画化されたものである。用地取得の交渉内容などについては、個人情報や交渉価格などの非公開部分を除いて公開する。

不透明な用地取得

藤本議員 土地開発公社の健全化計画がすすめられるに際しては、なぜ不良債権化したよつな土地の購入をしたのかを検証する必要がある。特に上鷲宮五丁目の土地は、地域の要望もなく、議会にもみえない形で21億円もかけて購入した理由が不透明であり、同じ年に購入した「かみさきこがし園」よりも用途地域などが悪いにもかかわらず高い価格で購入したのはなぜか。

答 この土地は、個性ある農業公園などの特色ある公園づくりのために取得したものである。購入に際しては、不動産鑑定評価を外部の機関に

委託するなどして適正な価格で交渉し、取得している。

土地開発公社

佐伯議員 平成6年から始めた土地開発公社の借入金の手がつけられず、利息を三重に支払っている。この増えしてしまった利息の合計額はいくらになるか。区民負担が増えていることを、正直に説明すべきと思うが。

答 平成6年度から12年度までの7年間の合計額は23億5574万3千円である。区の財政状況などのお知らせと合わせて、区報・ホームページで分かりやすく説明していきたい。

ペイオフ対策

齊藤高議員 区民を対象としたペイオフに関する説明会を、消費者センターなどで開いてはどうか。また、区民から預かった公金が失われた場合には、誰が、どのような責任をとるのか。

答 昨年11月に「ペイオフに備える」というテーマで消費者講座を開催したが、今後の実施については検討する。公金に損害が生じた場合には、区が責任を問われるほか、職務執行上の過失等があった場合には、担当職員が応分の賠償責任を問われることになる。

NPO等に対する支援

平島議員 杉並区は独自の基金を通じた寄付税控除を条例化し、税制面を含めたNPO支援を検討中だが、中野区にも区民との協働を進める上で、将来的に必要ではないか。

答 NPOへの支援体制づくりは重要だが、NPOは本来自主自立の団体であり、中野区は、団体への財政支援は今のところ考えていない。情報交流コーナーの設置などを議論しているところである。

は、何ができて何ができないのか曖昧で、区民を混乱させていないか。区民サービスについても、財政支出について検討が不十分で、事業の進め方にも問題があるのでは。

答 国が考えているような形になるまでには3年以上かかると思われる、軽易なものから順次実施していく。行財政5か年計画に基づき職員を削減するためにも、情報技術を活用し、行政システム改革の一環として電子区役所に取り組んでいく。

財政運営

佐伯議員 都内には同じ区長が4期務める区が5区ある。品川はじめ他区は一定の財政

状況を保ち、平成6年以降も財政規模が拡大しているのに対して、当区は縮小の一途をたどっている。財政悪化の最大の原因は、不況や景気の低迷ではなく、神山区長の区政運営にあったのではないかと、品川区はまちづくり事業の推進で投資的経費が多くなっており、財政規模だけでなく、財政規模だけで必ずしも比較できない。ただ、人件費などの義務的経費の削減が遅れたために財政状況が厳しくなったというところは、今後これらを削減する中で、改めて財政の再構築を行っていききたい。

デフレ経済と区政運営

山崎議員 デフレ対策には